平成２９年１０月号

事務職員会研究部



**研 究 部 だ よ り**

**事務職員会全体会**

　７月２７日（木）に事務職員会全体会が開催され、研究部からの提案及び教育局次長髙井様の講話がありました。

**基調提案**



今年度の活動テーマは「教育課程」です。グランドデザイン活動プランのポイントには「教育課程編成に貢献し、教育の質の向上を図る」とあります。教育課程は私たち事務職員と身近なものであり、教育課程なくして私たちの仕事は進められません。

今年４月の学校教育法の改正により、事務職員の職務が「事務に従事する」から「事務をつかさどる」となりました。こうした転換期だからこそ、これからは事務職員中心の視点からだけでなく、学校事務職員として「子どもの豊かな育ち」のために、「教育課程」という子どもたちへの教育にむけた視点からの関わりが必要なのではないでしょうか。教育課程編成を理解した上で事務職員の専門性を生かして関わっていくことが、さらなる「教育の質の向上」につながると考えます。

**活動プラン**



～今年度の活動プラン「教育課程」について～

**「教育課程」とは？**

研究部では、「学校教育目標を具現化するためのカリキュラム、年間の活動計画」だと考えました。

**では、教育課程において事務職員が担う役割とは？**

例えば…　・学校予算全般をフルコストで捉えて把握する

・学年会計について職員にもっと周知し、理解してもらえるよう働きかける

・物品や施設設備、情報などの資源の活用法を考える　　　　　　　　　　など

教員とは違う視点で、前年度までの反省・評価を生かしながら、計画を編成する段階で関わり、その計画が円滑に効果的に実施されるよう努めることが事務職員の役割だと提案しました。

実践例として、梅ヶ島小中学校 佐藤主任主事の取り組みを紹介しました。図工の迷路作りをする授業のため、年度当初の計画にはなかった材料の確保、自身の前職経験を生かした糸のこの使い方のアドバイスなど、教員とは違う視点から、授業づくりに関わりました。このように、私たち事務職員も、各校の教育課程を実施するために必要なスタッフなのです。

**提案を受けて　～経験の浅い事務職員からこんな声をいただきました。～**

・実践例が分かりやすかった

・自分たちの普段やっていることが、教育課程に繋がっているのだと気が付いた

初めは、「教育課程」と聞いて難しく感じていた方も、教育課程が身近なものであり、教育課程なくして私たちの仕事は進められないということ、そしてこれまでも私たちの仕事は教育課程に沿って進められていたことに気づいていただけたのではないでしょうか。







**講話「教育施策の動向について」**

**静岡市教育委員会教育局次長　髙井 絢様**







最初に学習指導要領の変遷や新学習指導要領の改訂のポイント等についてお話しいただきました。今回の学習指導要領改訂では、新しい時代に必要な資質・能力を育成するために「何を学ぶか」に加え「どのように学ぶか」という学ぶ姿勢がポイントとなっていることや、これからの教育課程の理念である社会に開かれた教育課程についての解説がありました。

教員の多忙化や社会の変化等により、これからは「チームとしての学校」の在り方が重要となってきます。教員以外の専門スタッフによる学校への参画や、学校のマネジメント機能の強化により、チームとして学校が地域社会と連携・協働していくことが求められます。また、事務職員の職務の改正や共同事務室の規定の整備により、事務体制を強化し事務職員が管理職を補佐して学校運営に関わっていくことや、共同実施の学校全体への効果拡大のための取組が求められ、事務職員が学校経営に関わる大きな一翼を担う立場に

あることをお話しいただきました。学校事務に期待されていることの大き

さを感じるお話でした。

中越地震後、復興シンボルとしてアルパカを贈られた山古志村。

震災直後はアルパカを活用できなかったが、数年後の観光資源になると村

で考え実施し、発展を遂げてきました。アルパカのように、１０年後さら

にその先の長期的視点を考えた種を蒔いていってほしいとのお言葉に、先

を見据えることの重要性と研究を推進していくことの大切さを感じました。



**財務ウィークについて**

平成２９年１１月１日（水）～１１月７日（火）

**「子どもの豊かな育ちを学校財務から」**

　今年もまた、この季節がやってきました。各学校や地域の状況に応じた積極的な取り組みをしてみましょう。年度途中の予算の執行計画の見直しや来年度への改善提案等、この機会をきっかけに事務室から情報発信をしていきましょう。

今年度も全事研では、支部・市区・グループ・個人・校内組織の実践を募集しています。詳しくは、9月26日送信のメール「財務ウィーク2017　実践レポート及びポスター写真の募集について」をご確認ください。〆切りは11月15日(水)です。皆さまからのたくさんのご応募をお待ちしています。